

アトリエ 琉游舎 だより 57号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/

2019年7月17日発行

琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

お盆施餓鬼法要

8月18日(日)10時半から

- ★8月18日(日)10時半より「お盆施餓鬼法要」を行います。
- ★施餓鬼会は受難、殉難、遭難、自然災害、人為災害、戦争、病没、公私、有縁・無縁を問わないすべての精霊への供養と回向の法要です。
- ★お盆にお墓参りができなかつた方は琉游舎で祖霊に報恩感謝をいたしましょう。
- ★すべての人に開かれている琉游舎は宗教宗派を問いません。お待ちしております。

お知らせ!

7月25(木) 26(金) 27(土)

琉游舎はまことに勝手

7月29(月) 30(火) 31(水)

ながら休舎いたします

読書会

7月23日・8月13日(火)
13時半から

写経会

8月4日(日)
13時半から

詩話会

8月10日(土)
13時半から

7月25日の居酒屋の会と映画会
は中止とさせていただきます

読書会は7月23日で「妙法蓮華経」の全巻が終了します。8月からは親鸞の「歎異抄」を予定しています。経を宗派の宗旨に沿って読むと堅苦しく教条的で行動や思考を縛る緊縛の書となってしまいます。琉游舎の読書会は書かれたままに素直に読み、分からないところはそのままに、変だなと思うところそのままに読みます。言葉を素直にありのままに受け入れて読んでいきます。「妙法蓮華経」も2年にわたってこの琉游舎の読み方で全巻を読了しました。今度は「歎異抄」です。もちろん宗派の宗旨に沿って読むというようなもったいない読み方はしません。一人の信仰者の信仰の喜びの記録を共にしその喜びに与りたいと考えて読みます。何をどのように信じて如何に行うかは人それぞれのもので、それは時代や社会環境、個人の資質・生育環境等に規定されるものだと考えています。ただその核にある共通のものは「信仰の喜び」です。一緒に親鸞聖人の「信仰の喜び」の声を聴いてみませんか。8月13日(火)13時半から。お待ちしております。

7/18 木	13時半	花咲ける騎士道 (100分)	ジーナ・ロロブリジータ主演。ジプシー娘に予言されて入隊したファンファンは王女と会うために、お城に忍び込むが、、、フランス剣戟映画の傑作。
7/25 木	映画会お休み		
8/1 木	13時半	ジョニー・ベリンダ (102分)	アカデミー賞主演女優賞受賞作。カナダの小さな島に赴任してきた医者は、村の聾啞の娘に手話を教える。彼女は次第に明るくなり父親も喜ぶが、、、
8/8 木	13時半	戦場 (118分)	1942年冬、ドイツ軍の猛攻にさらされた若き兵士たちの焦燥感、孤独、そして友情を単なるヒロイズムに陥ることなく描き出した戦争映画史に残る名作。
8/15 木	映画会お休み		
8/22 木	13時半	真昼の決闘 (84分)	ゲイリー・クーパー、グレイス・ケリー主演。かつて保安官に捉えられたならず者たちが報復にやって来ると知っても彼を助ける者は街にはいなかった。西部劇の代名詞となる傑作。

嵐退散!

ジャーナリズムは社会的に多くの影響力を持つているため「立法」「行政」「司法」の三つの権力とともに「報道機関」を第四の権力と呼んでいます。権力のひとつであるということは、ある権力意志を行使する立場に立って、事実を取捨選択・編集して伝えていくものでしょう。しかしそれでは偏向報道、御用報道のそしりを免れないので、日本では報道機関は一応、公平中立を基本的な立場としています。というような教科書的な建前はさておき、このところのNHKのニュースは楽しいですね。

一月二七日夜七時のトップニュースは「あらし たいさん!」耳から入った音声で「どこの嵐がどこから退散したの?」「天気予報は?」と思って画面を見たら、学芸会に等しい歌とともに妙に小綺麗な男の子がタコ踊りともつかぬダンスを踊っている映像が飛び込んできました。チャンネルを間違えた!イヤ、そうではなかった!そういえば彼らの兄貴分の解散のときもたっぷり時間を取って報道してくれた記憶があります。もちろんメンバーの一人が公務執行妨害の容疑で現行犯逮捕されたことも、酒に酔って公園で裸で大声をあげて逮捕されたことも、忖度に長けたNHKは一言も触れていませんでした。最近もカタカナ混じりの名前を持った彼ら角兵衛獅子の元締め死亡報道を長々とやっています。角兵衛獅子やサーカスの親方は子どもに学校にも行かせず体を柔軟にするために酢を飲ませてばかりいる児童虐待の権化だと思っていたのですが、どうやら時代は変わったようです。

英国の作家スマイルズは「自助論」で「一国の政治というものは、国民を映し出す鏡にすぎない。立派な国民には立派な政治、無知で腐敗した国民には腐りはてた政治しかありえないのです」と述べています。それはそのまま報道や芸能や文化・教育などあらゆるジャンルにも言えることでしょう。だから私はタコ踊りとハモることもできない歌唱をパフォーマンスと呼び、学芸会の演者をアーティストと呼ぶことに何の異論もありません。そして報道機関が嬉々としてそれを私たち国民に伝えることにも何の異論もありません。テレビで報道されている姿が私を映し出す鏡なのです。異論を唱えたら私は日本国民であることをやめなければならなくなってしまう。

とは言ってみたものの、私はいつまで日本国民を続けられるか自信がありません。私がテレビを見なくなり、新聞を読まなくなると自分の鏡になりそうなものから一切目をそむける方が先か。私の目の中を吹き荒れる四つの権力の嵐が退散する方が先か。答えは自明ですね。権力は自ら退散するはずがありませんから。

六道輪廻

NHKニュースではじめて知って驚き同時に滑稽に感じたことがあります。仏教の教えでは人間のお墓にペットと一緒に埋葬することができないようなのです。家族同様に暮したペットが亡くなった時、いずれ自分が入るであろうお墓にお寺から埋葬を断られた男性がともつらそうに画面の中で語っていました。

ペットが人間と同じ墓に入れない理由として、畜生は六道輪廻を抜け出すことができません。浄土には行けないからなので、ある宗派の教えに従っていけば人だけは必ず浄土に行けるので、浄土(墓の中!)に人間と畜生が同居するなどあり得ないと言ったことがその宗旨のようです。この世に生きるすべてのものは「地獄、餓鬼、畜生、阿修羅、人、天」の六道の世界に生と死を何度輪から抜け出すことを「解脱」と言うのです。これは仏教の教えの基本中の基本。この基本に忠実に従えば人はもちろん餓鬼も畜生もいずれば解脱して成仏する可能性があるわけですが、つまり浄土に行くことができません。ですから僧侶の私は、この問題がなぜ問題なのか全く理解できません。それとも私はお釈迦様の教えを誤って受持っている、名ばかりの僧侶なのでしょう。

ニュースは続いて、お寺の元締めの役所のような所で顧客(檀家)の現実的な要望に合わせて何とかペットと人が同じ墓に入ることができないか、経を一字一句確かめている場面を報じていました。そしてそれらしい文言を経の中に見つけたらしく、そのことを得々として、宗派の研究からしきところの説明をしています。ニュースの内容はだいたいこんな所だったので説明をしてみました。人間が同じお墓に入ることができるといってお墨付きがその宗派のお役所から出たと言っていることでしょう。これで、一件落着。顧客満足が得られなければビジネスはいずれ立ちゆかなくなり、顧客がビジネスであるならば大変賢明な判断だと思えます。

宗教家は自分の眼で観て考えてそして行う人たちのこと。そしてその根底にあるものは慈悲です。私はこの一連のニュースをとっても滑稽に感じました。経に書いていないからダメ、ダメと書いていないからヨシ。この文言はこう読んだらダメ、でもこう読んだらヨシ。偉い人がヨシと言ったからヨシ、ダメと言ったからダメ。今まではダメだったのがあなたのお苦しみの悩みにも応えられませんでした。でもお墨付きが出てダメなものがヨシとなったのでこれからあなたの方の要望には応えられます。慈悲深き仏さまに感謝しなさい。要約すればこういうこと。これでは指示待ち・杓子定規のお役人さんみたいですね。あなたたちは宗教家ですか?